

2023年8月度 普及度調査結果

本調査は、chemSHERPAユーザーが他の様式を使っている状況を把握するためのアンケート調査です。
様式の利用状況（動向）を把握するため、1年ごとに実施する予定です。
この結果は、公開するとともに、委員会活動の参考資料とさせていただきます。

2023年11月
アーティクルマネジメント推進協議会（JAMP）
普及委員会

アンケート概要と回答者の分布

前回と傾向は変わらず

1. アンケート期間

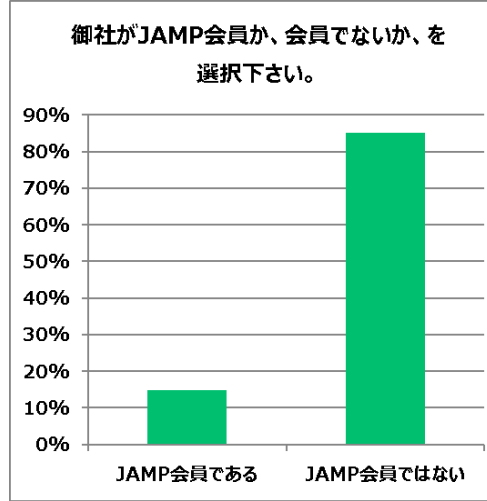
2023年8月21日～8月31日

2. アンケート送付先

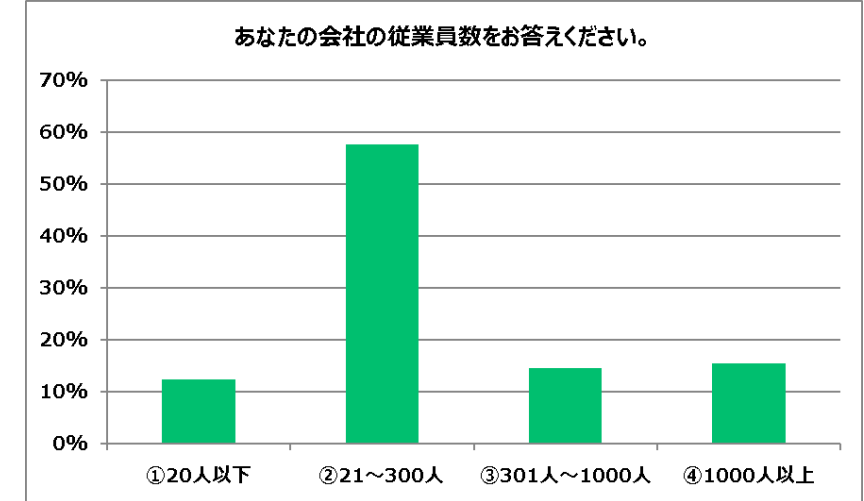
JAMP会員、委員、
chemSHERPAダウンロードユーザー
(直近1年間) 約5万名

3. 有効回答数

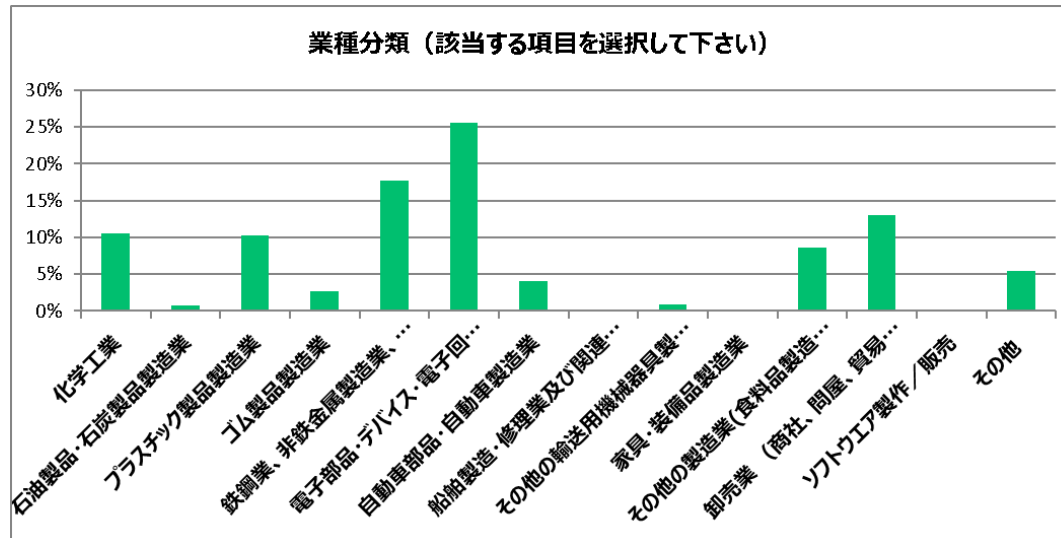
4,019件 (前回3,172件)



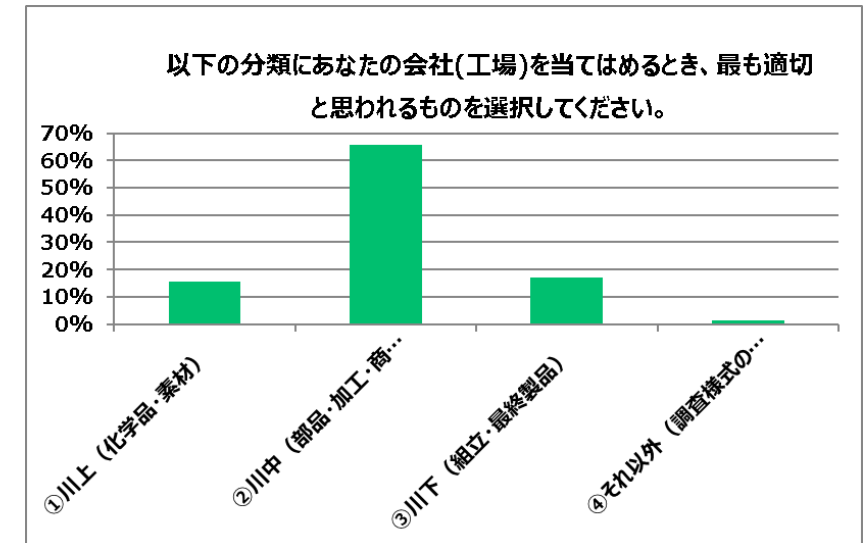
JAMP会員は15%程度



300人以下の企業が7割を占める



電子部品、金属・プラスチック加工、化学工業、商社など

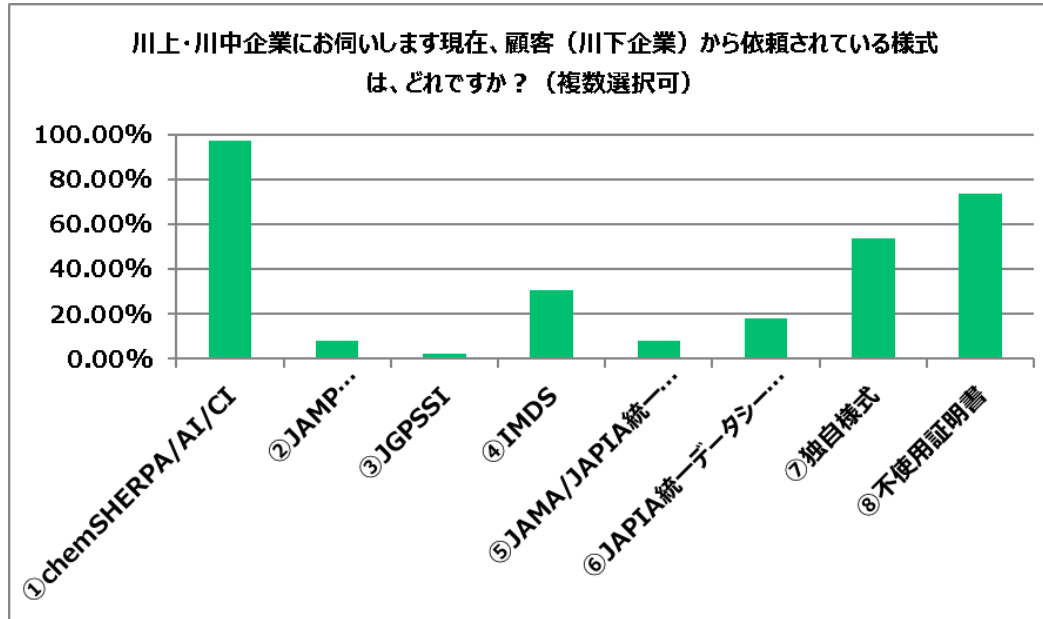


川中企業が6割を占める

川上・川中企業が依頼されている様式（現状）

前回と傾向は変わらず

2022年
7月

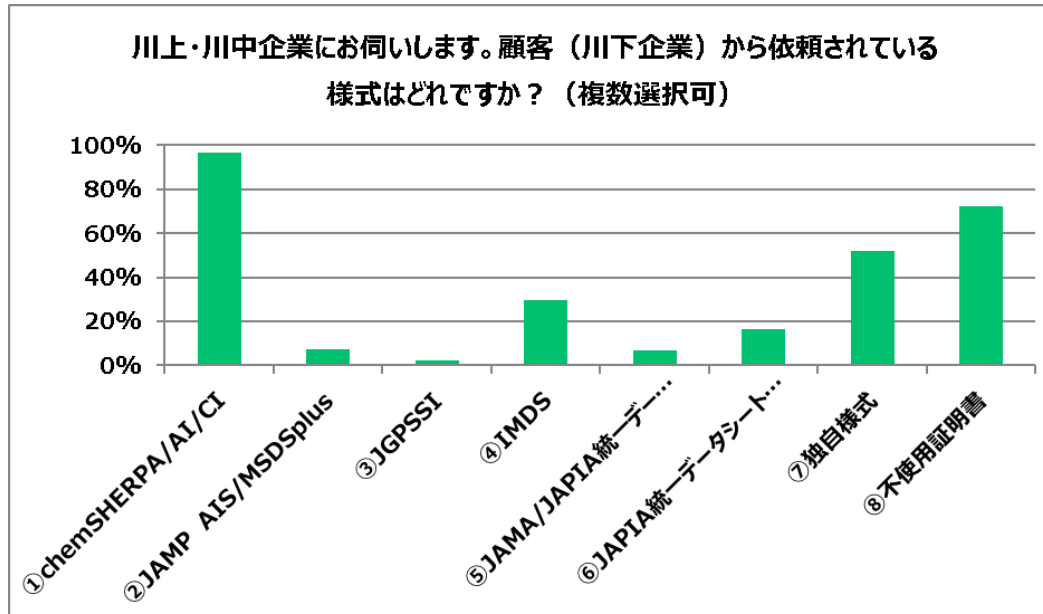


Answer Choices	Responses	
①chemSHERPA/AI/CI	97.28%	2615
②JAMP AIS/MSDSplus	8.04%	216
③JGPSSI	2.34%	63
④IMDS	30.43%	818
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	7.85%	211
⑥JAPIA統一データシート（2020年10月）	18.12%	487
⑦独自様式	53.65%	1442
⑧不使用証明書	73.85%	1985
	Answered	2688
	Skipped	484

・2%以上の増減 IMDS（3%増）

・JAPIAシート関連は微減

2023年
8月



	Responses	
①chemSHERPA/AI/CI	96.65%	3346
②JAMP AIS/MSDSplus	7.16%	248
③JGPSSI	2.28%	79
④IMDS	29.52%	1022
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	6.79%	235
⑥JAPIA統一データシート（2020年10月～）	16.61%	575
⑦独自様式	52.20%	1807
⑧不使用証明書	72.47%	2509
	Answered	3462
	Skipped	557

・IMDS微減

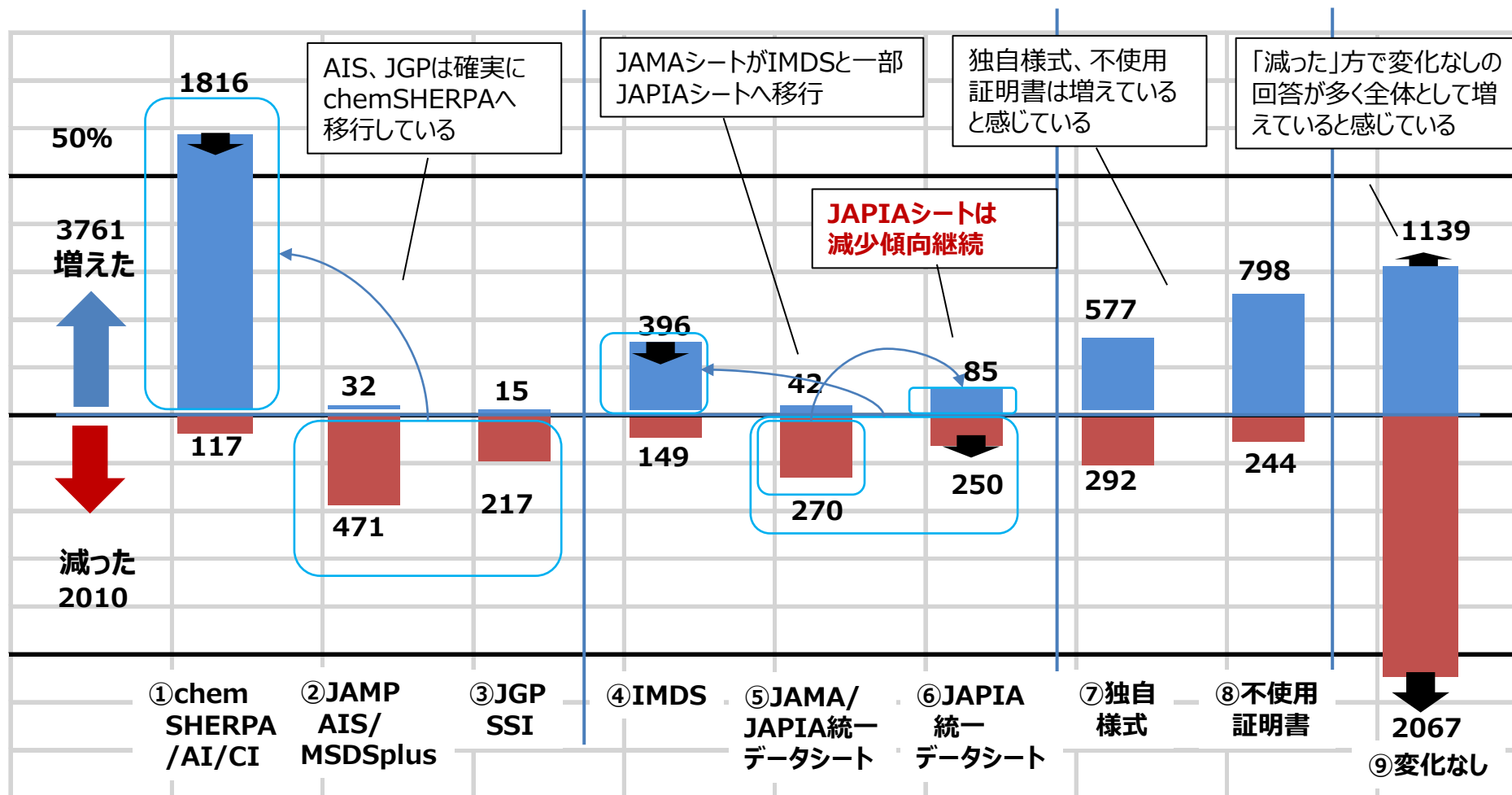
・JAPIAシート（▲1.5%）

川上・川中企業が依頼されている様式の変化 (1年前に比べて増えたか、減ったか)

前回と傾向は変わらず

2023年
8月

前回差の傾向

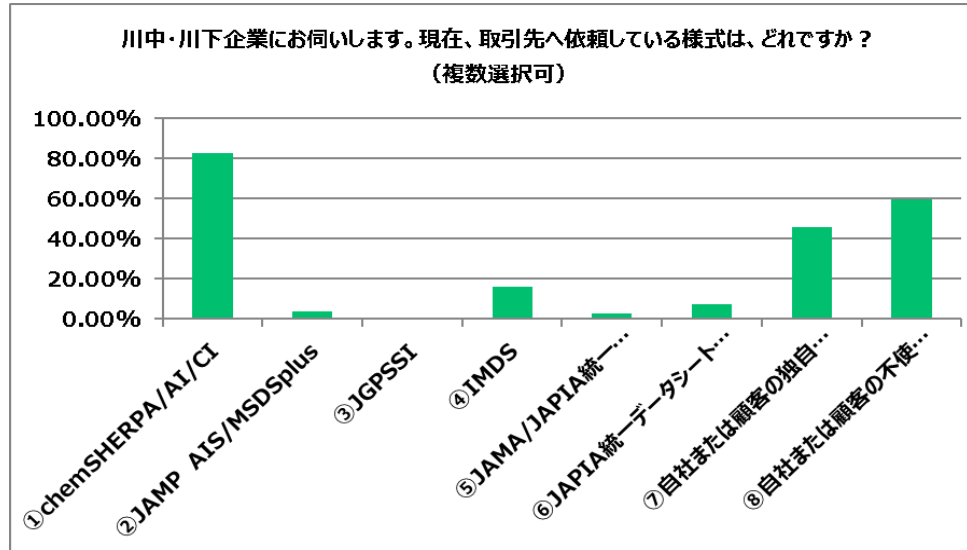


- ① IMDSは増加傾向は少し頭打ちに。JAPIAシートは、引き続き減少傾向にある
- ② 独自様式、不使用方法は引き続き増加傾向にある
- ③ 変化なしの割合が双方増えており、安定傾向に推移している

川中・川下企業が依頼している様式（現状）

前回と傾向は変わらず

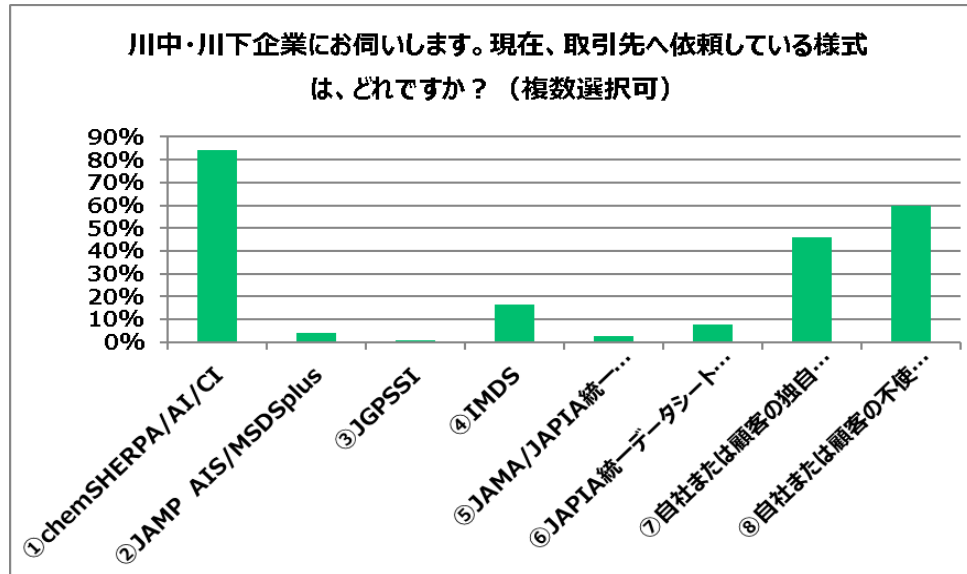
2022年
7月



Answer Choices	Responses	
①chemSHERPA/AI/CI	82.67%	2166
②JAMP AIS/MSDSplus	3.97%	104
③JGPSSI	0.65%	17
④IMDS	15.95%	418
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	2.82%	74
⑥JAPIA統一データシート(2020年10月)	7.40%	194
⑦自社または顧客の独自様式	45.61%	1195
⑧自社または顧客の不使用証明書	59.54%	1560
	Answered	2620
	Skipped	552

- ・2%以上の増減
独自様式 (▲2%)、不使用証明書 (▲3%)
- ・依頼側は個社様式を抑制する方向か。

2023年
8月



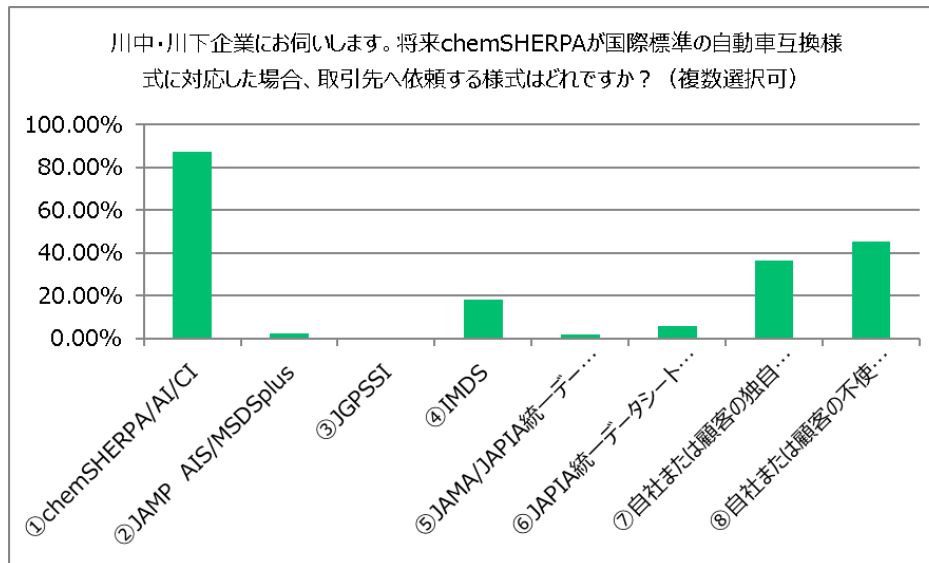
Answer Choices	Responses	
①chemSHERPA/AI/CI	84.08%	2820
②JAMP AIS/MSDSplus	3.94%	132
③JGPSSI	0.75%	25
④IMDS	16.28%	546
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	2.77%	93
⑥JAPIA統一データシート(2020年10月~)	7.54%	253
⑦自社または顧客の独自様式	45.77%	1535
⑧自社または顧客の不使用証明書	59.75%	2004
	Answered	3354
	Skipped	665

- ・2%以上の増減なし
- ・chemSHERPA、IMDSが拡大傾向
- ・個社様式、不使用証明書は微増

川中・川下企業が将来活用する様式 (自動車互換となった場合)

前回と傾向は変わらず

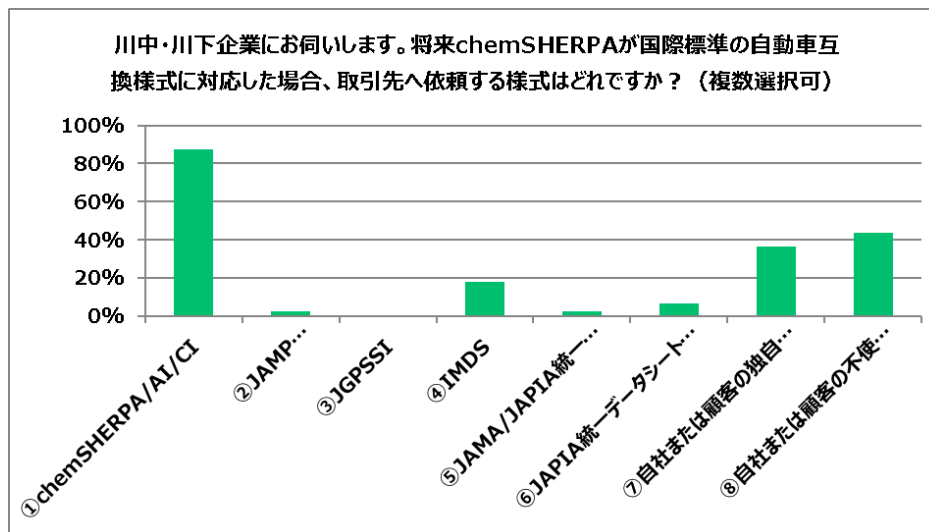
2022年
7月



Answer Choices	Responses
①chemSHERPA/AI/CI	87.45% 2201
②JAMP AIS/MSDSplus	2.58% 65
③JGPSSI	0.40% 10
④IMDS	18.16% 457
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	2.11% 53
⑥JAPIA統一データシート（2020年10月～）	6.12% 154
⑦自社または顧客の独自様式	36.39% 916
⑧自社または顧客の不使用方法	45.17% 1137
	Answered 2517
	Skipped 655

・大きな傾向は変わらずだが、前回と比較して、
独自様式、不使用方法が若干減っている
(chemSHERPAの取り組みが理解されてきたか?)

2023年
8月



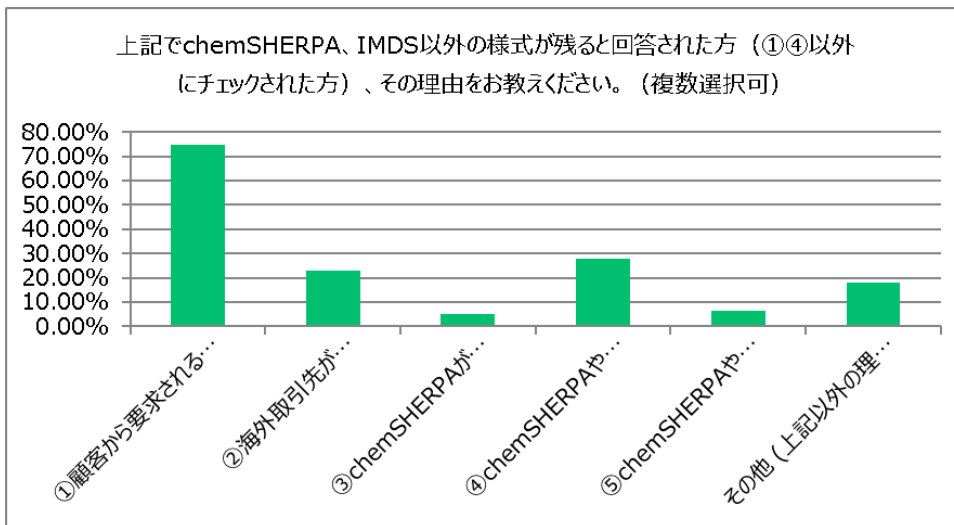
Answer Choices	Responses
①chemSHERPA/AI/CI	87.33% 2813
②JAMP AIS/MSDSplus	2.55% 82
③JGPSSI	0.56% 18
④IMDS	17.85% 575
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	2.67% 86
⑥JAPIA統一データシート（2020年10月～）	6.43% 207
⑦自社または顧客の独自様式	36.48% 1175
⑧自社または顧客の不使用方法	43.81% 1411
	Answered 3221
	Skipped 798

・大きな傾向は変わらず
・不使用方法が若干減っている

川中・川下企業 chemSHERPA/IMDS以外が残る理由 (自動車互換となった場合)

前回と傾向は変わらず

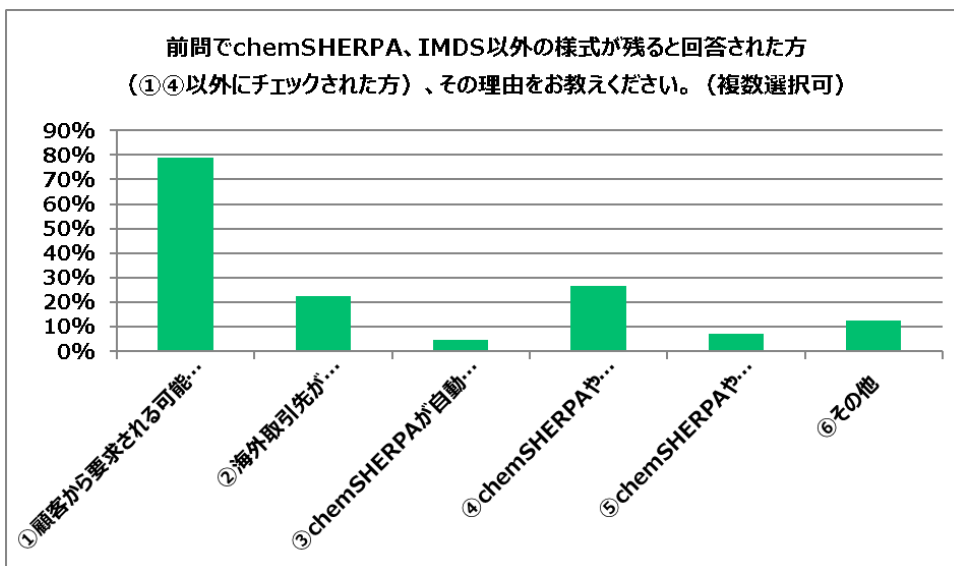
2022年
7月



Answer Choices	Responses	
①顧客から要求される可能性があるため	74.62%	1141
②海外取引先がchemSHERPAを回答しないため	22.83%	349
③chemSHERPAが自動車互換できるとは思えないため	4.97%	76
④chemSHERPAやIMDSが難しく回答できない取引先がいる	27.67%	423
⑤chemSHERPAやIMDSより使いやすいため	6.28%	96
その他（上記以外の理由、または、補足説明があればお願いします）	18.18%	278
	Answered	1529
	Skipped	1643

その他の意見として、chemSHERPAの規制物質収載タイミングが遅く、不使用証明書での調査が発生している（36件）、chemSHERPAに未掲載の物質調査が必要（64件）と各件数が前回より増えています。

2023年
8月



Answer Choices	Responses	
①顧客から要求される可能性があるため	78.90%	1518
②海外取引先がchemSHERPAを回答しないため	22.51%	433
③chemSHERPAが自動車互換できるとは思えないため	4.63%	89
④chemSHERPAやIMDSが難しく回答できない取引先がいるため	26.66%	513
⑤chemSHERPAやIMDSより使いやすいため	6.96%	134
⑥その他	12.47%	240
	Answered	1924
	Skipped	2095

顧客要求がなくなるしないが増加（+4%）
その他の意見としては、chemSHERPAの規制物質収載タイミングが遅く、不使用証明書での調査が発生している（42件）が前回より増加。

川中・川下企業 chemSHERPA/IMDS以外が残る理由 (自動車互換となった場合)

残る理由のコメント分析 (トップ5とピックアップ)

	主な意見集約 (回答数 284)	2022	2023
1	chemSHERPAやIMDSが難しい。回答取得に時間がかかる。海外取引先から入手できない。	64	↑ 66
2	客先の動向次第	43	↑ 58
3	chemSHERPA、IMDS以外の管理物質、顧客指定物質が存在する	64	↓ 47
4	chemSHERPAの物質収載タイミングが遅い	36	↑ 42
5	chemSHERPAでは証明にならず、裏付けが必要	27	↓ 14

ピックアップコメント (抜粋あり、原文のまま)

UVCB材(ガラスやセラミック)において、原料の規制物質の開示を要求する顧客と、UVCBとしてのみの記載を要求してくる顧客に分かれる。**現在のchemSHERPAの記載では、UVCBの原料(製品中には存在しない物質)を表現しにくい**ため。また、非開示物質比率(5又は10%)の枠を嵌めてくる顧客もいるため。

乗用車以外の特殊車両(農建機等)でJAPIAで要求される場合がまだある

IPC-1752のことが記載されていない。最近の帳票の傾向としてJGPPSIではなく、IEC62474のフォーマットの回答ができる**IPC-1752の準じたプラットフォーム形式の回答がIMDS以外では増えている**。

繊維業界においてZDHC、エコテックス、ブルーサイン等の認証があり、それらの要求に合致するのかの調査がchemSHERPAのみでは不足しているため

原則、chemSHERPA一本にしたいところだが、顧客から非含有を要求される物質の全てが、chemSHERPAに収載されているかの判断が容易ではないため、その場合は、独自様式にて非含有証明書を作成・依頼するほかない。

当社最多調達先の**鉄鋼メーカーが社外秘を理由に情報を開示しない**ため。

①chemSHERPAの入手対象を絞る目的で、chemSHERPA調査前に独自様式で調査を行っている。②新たに規制された物質を調査するため。この場合、過去に入手したchemSHERPA全てを再入手できればいいが、それは、現実的ではないため、**個別様式で新たに規制された物質を独自様式で調査**している。



1. 著作権

・本資料の著作権は、発行者であるア－ティクルマネジメント推進協議会(JAMP)に帰属し、本書の無断での複製、転載などは著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書に記載されている文章、図表などを複製、転載などされる場合は、事前に発行者の許諾を得てください。

2. 責任の制限

・本資料は、記載された情報の利用にあたっては各自の判断に基づき行うものとし、作成者・著作者はそれによって生じた一切の損害については責任を負いかねます。